

言葉で感じる季節

冬菜
ふゆな

冬に出回る葉物野菜を総称して「冬菜」と言います。白菜、水菜、小松菜…「冬菜」という優しい響きからは、寒い季節に耐えて育った葉のやわらかさが連想されるようです。特に昔は、冬は野菜が少なくなる時期。ありがたいという気持ちを込めて作ったことでしょう*

葉の柔らかさは、もちろん九条ねぎも他の冬菜に負けてません！！



朝晩の冷え込みが厳しく、寒さが身にしみる季節。これからより一層増える寒さからねぎを守るためにトンネル被覆の準備をはじめました。農人たちは、せっせと準備をすすめています。

今年一年、皆さまには大変お世話になりました。

「京都市輝く地域企業表彰」にて、地域に根差した企業活動に継続して取り組まれている企業として表彰頂くことになりました。日頃から支えて頂いているお客様はじめ、従業員のおかげです。来年も、感謝の気持ちを忘れずに社会に貢献して参ります。

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます
ことねぎだより

NO.151

2019年12月号
TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

冬菜

今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

期待が膨らむ、冬葱のお届けのはじまり

今年も残り1ヶ月、京の地も凍てつくような寒さになっていく中、亀岡・京都市の旬の冬葱をお届けします。夏の盆明けの少し暑さの和らいできた9月上旬頃に定植した時のねぎ。

10月・11月は、ねぎにとって生育適温の時期になります。収穫をしても、徐々に重さを感じるようになり、冬葱特有の蜜を持った甘みのあるねぎを皆さんにお届けできことを嬉しく思います。火を通すことで甘みが増す冬葱、ご賞味ください。
*この季節、鍋にぴったりの甘さと食べ応えのある葉肉、まさに旬の楽しみ。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

初挑戦！冬のベトコン設置作業

トンネル被覆作業の時期がきました。今年は、新たな試みとして、ベトコンハウスを設置予定です。ベトコンハウスとは、四国・徳島特有の少し小さめのビニールハウスで、今年の夏は支柱部分を美山での防風ネットの支柱としても利用していました。その支柱を美山から京都市へ搬送し設営、ビニールで被覆しています。



ベトコンハウスのメリットは、ちょうど人が入れる大きさなので、被覆をしながら、追肥などを行えることです。そのベトコンハウスでは、いつも以上に真っすぐな畝立てが求められます。そこで、圃場に紐を張り、それに沿ってトラクターを走らせようと挑戦。初めての試みだったので、試行錯誤しながらでしたが、最終的には真っすぐできれいな畝を立てることができました！



定植の作業も行いながら、今月中にはベトコン設置完了できるように急ピッチ、かつ、丁寧な作業を心がけて頑張ります！

ベトナム実習生の彼女たちの作業の速さはスゴイです...!

※年末年始 余裕を持ったご発注を※
毎年この月は交通事情等で、時間指定されていても延着等のトラブルが発生しやすい傾向です。当社としては所定の通り出荷致しますが、運送業者等の事情で予定通りに荷物が届かないことが予想されます。万一来届、店舗様では通常よりも在庫をお持ち頂き、若干の延着が発生しても影響が緩和できるようにご協力頂きますようお願い致します。